

## 2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名  
 コード番号 3808 URL <https://www.okwave.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松田 元  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(6841)7672  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	2,216	△2.5	△327	—	△290	—	△750	—
2019年6月期第2四半期	2,273	93.2	587	498.5	467	428.7	382	443.9

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 △731百万円(—%) 2019年6月期第2四半期 421百万円(484.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年6月期第2四半期	△82	53	—	—
2019年6月期第2四半期	43	20	42	78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	12,010	3,125	25.5
2019年6月期	12,668	3,774	29.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 3,066百万円 2019年6月期 3,697百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年6月期	—	0 00	—	2 50	2 50	—
2020年6月期	—	0 00	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 2020年6月期の期末配当予想に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

2020年6月期の連結業績予想において、フィンテック事業については市況等外部要因による影響を受けやすく、業績変動が大きいことから開示しておりません。(詳細は、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期2Q	9,129,918株	2019年6月期	9,073,300株
2020年6月期2Q	86株	2019年6月期	86株
2020年6月期2Q	9,097,215株	2019年6月期2Q	8,851,511株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当社は、グループ全体で取り組む3ヵ年中期ビジョンを策定し、現在は3年後の大きな結果を生み出すために、収益拡大のための施策や、フィンテック事業の機能強化等を行っております。

当第2四半期連結累計期間(2019年7月1日～2019年12月31日)において、引き続きソリューション事業における法人向けのサービスが順調に拡大したことや、フィンテック事業における大口の案件受注により売上は順調に推移したものの、グループ会社各社が収益貢献できるにはまだ段階があり、現時点では利益を引き上げる要因となっております。

また、その他にも投資有価証券評価損の影響等もあり、連結では減収減益となりました。

売上高	2,216,968千円	(前年同期比56,754千円減)
営業損失(△)	△327,625千円	(前年同期比915,579千円減)
経常損失(△)	△290,316千円	(前年同期比758,040千円減)
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△750,785千円	(前年同期比1,133,158千円減)

## ② 事業別概況

「2.(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っております。

以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の新セグメントに組み替えて表示しております。

旧セグメント		新セグメント	
コンシューマー・サービス事業	OKWAVE.JP(Q&Aサイト)、GRATICAマーケティングサポート関連	ソリューション事業	OKWAVE.JP(Q&Aサイト)、GRATICA法人向けFAQ関連サービス
エンタープライズ・ソリューション事業	法人向けFAQ関連サービス	インバウンド・ソリューション事業	24時間多言語コンタクトセンター
インバウンド・ソリューション事業	24時間多言語コンタクトセンター	フィンテック事業	マーケティングサポート関連 ブロックチェーン関連開発 金融商品等の販売等
フィンテック事業	ブロックチェーン関連開発 金融商品等の販売等		

## (ソリューション事業)

ソリューション事業の売上高は、主に法人向けサービス「OKBIZ.」シリーズの販売が牽引しており、同サービスについては引き続き需要が高まっていることや、安定して高水準の継続率を維持できていること等から順調に成長を続けております。第1四半期同様、前年同期比10%以上の増収となっております。

また、利益に関しては、第1四半期同様、引き続き下期戦略実現に向けた体制強化の影響を受け前年同期に比べ利益率は低下しております。

以上の結果、ソリューション事業全体としては、売上高は1,063,815千円(前年同期比151,720千円増)、セグメント利益は273,724千円(同33,910千円増)の増収増益となりました。

## (インバウンド・ソリューション事業)

国際的なスポーツイベント等外部環境の好況から、引き続き需要が高い状況が続いているものの、第1四半期同様今後の需要増に対応するための体制強化を引き続き行っており、人員を確保したことや外注比率が増加したこと等により、売上高は410,478千円(前年同期比38,590千円増)、セグメント利益は52,055千円(同40,132千円減)となりました。

## (フィンテック事業)

戦略的な提携と位置付けて業務受託契約を締結したビート・ホールディングス・リミテッド社からの案件受託により第1四半期に対して売上は拡大したものの、大口案件が業績を牽引した前期ほどには及ばず、利益面では金融子会社の収益性の改善を進めているものの成果が顕在化するまでには時間を要しており、売上高は742,674千円(前年同期比247,065千円減)、セグメント利益は△209,431千円(同1,016,017千円減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、主に移転による「差入保証金」の増加及び「証券業における短期差入保証金」「証券業における預託金」「証券業における支払差金勘定」の資産の増加があるものの、「売掛金」の回収による減少及び「証券業における信用取引資産」「仮想通貨」の減少により12,010,429千円（前連結会計年度末比658,480千円減少）となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「証券業における預り金」及び「証券業における受入保証金」の増加及び移転による「資産除去債務」の計上により増加したものの、新株予約権の行使により「新株予約権付社債」の減少、「証券業における信用取引負債」の減少により8,885,209千円（前連結会計年度末比8,848千円減少）となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に「資本金」及び「資本剰余金」の増加があったものの「利益剰余金」の減少により3,125,219千円（前連結会計年度末比649,632千円減少）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期については業績の振れ幅が大きく、見通せない要因が多分にあることから、業績予想については開示しておりません。しかしながら、これまで安定的に成長を実現してきた事業については二桁の成長を目指しており、それ以外、主にフィンテックに関する分野については積極的な投資、或いは育成等を中心に取り組んでおります。

各セグメントにおける当期の動向、方向性等については以下のとおりです。

## (ソリューション事業)

現在は単独サービスとして企業に提供している「OKWAVE GRATICA」の普及をさらに推進し、順調に拡大できている法人向けサービスとの連携を強化させるなどして感謝経済に関わるユーザーを増やす取り組みを推進していきます。

また、法人向けFAQ関連のサービスについては、引き続き高い評価をいただいております。高水準の継続率を維持しております。また、新規の契約についても、順調な拡大を計画しております。

## (インバウンド・ソリューション事業)

引き続き足元の環境については需要が高まっております。また、インバウンド以外の需要も高まっているため、各種ニーズに対応できる体制を構築し、収益の拡大を目指してまいります。

## (フィンテック事業)

当初第1四半期に見込んでいた受託案件が第2四半期に獲得でき、また、以降についても継続的な受託を見込んでおります。

フィンテック事業全体としては、現時点では引き続き子会社それぞれの事業を進め、機能を強化していく段階にあります。3年後の成長ドライバーとなるべく引き続き機能強化のための投資、育成等を続けてまいります。また、フィンテック事業を中心としたトークンエコノミーを実現するため、あらゆる可能性を模索していきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,660,925	1,643,267
受取手形及び売掛金	1,796,425	873,671
仮想通貨	1,604,977	1,513,707
商品及び製品	9,559	4,618
仕掛品	1,113	—
保管有価証券	25,433	20,640
証券業における預託金	276,414	355,007
証券業における信用取引資産	949,029	789,098
証券業における短期差入保証金	1,494,523	1,606,326
証券業における支払差金勘定	105,104	163,468
前払金	1,824	2,974
前渡金	—	12,826
前払費用	84,026	129,943
短期貸付金	801	60,000
その他	153,186	144,397
貸倒引当金	△34,663	△35,266
流動資産合計	8,128,682	7,284,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	139,543	270,775
減価償却累計額	△113,155	△62,607
建物及び構築物(純額)	26,388	208,167
工具、器具及び備品	554,740	530,433
減価償却累計額	△451,899	△413,673
工具、器具及び備品(純額)	102,841	116,759
土地	4,000	4,000
その他	0	98
有形固定資産合計	133,229	329,024
無形固定資産		
特許権	10,019	11,211
商標権	8,790	11,484
ソフトウェア	117,588	138,994
ソフトウェア仮勘定	135,323	76,350
のれん	766,088	686,504
テクニカルライセンス	2,242,509	2,128,399
無形固定資産合計	3,280,319	3,052,945
投資その他の資産		
投資有価証券	932,566	982,001
差入保証金	160,279	318,547
長期貸付金	36,510	36,510
その他	73,923	82,918
貸倒引当金	△76,602	△76,201
投資その他の資産合計	1,126,678	1,343,777
固定資産合計	4,540,227	4,725,747
資産合計	12,668,910	12,010,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	117,788	58,927
短期借入金	354,959	400,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	916,660	1,283,324
未払金及び未払費用	589,741	648,965
証券業における信用取引負債	949,029	789,098
証券業における預り金	48,308	161,265
証券業における受入保証金	1,778,950	1,880,250
顧客からの預り金	238,547	177,237
預り仮想通貨	1,520,664	1,438,879
未払法人税等	159,028	201,290
未払消費税等	43,775	12,224
1年内返済予定の長期借入金	67,400	34,390
前受金	58,903	77,111
預り金	33,507	27,105
資産除去債務	40,000	40,000
その他	74,595	29,047
流動負債合計	6,991,859	7,259,118
固定負債		
長期借入金	29,900	104,210
転換社債型新株予約権付社債	1,833,320	1,374,990
繰延税金負債	23,668	30,366
資産除去債務	3,954	105,169
固定負債合計	1,890,842	1,614,736
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1,355	1,355
商品取引責任準備金	10,000	10,000
特別法上の準備金合計	11,355	11,355
負債合計	8,894,058	8,885,209
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,267,726	1,313,559
資本剰余金	667,778	713,611
利益剰余金	1,774,227	1,000,758
自己株式	△85	△85
株主資本合計	3,709,647	3,027,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,024	67,165
為替換算調整勘定	△62,674	△28,352
その他の包括利益累計額合計	△11,650	38,812
新株予約権	25,494	38,629
非支配株主持分	51,360	19,932
純資産合計	3,774,852	3,125,219
負債純資産合計	12,668,910	12,010,429

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,273,722	2,216,968
売上原価	805,104	1,012,875
売上総利益	1,468,618	1,204,092
販売費及び一般管理費	880,664	1,531,717
営業利益又は営業損失(△)	587,953	△327,625
営業外収益		
受取利息	1,543	949
貸倒引当金戻入額	583	400
業務受託料	—	810
保険戻金	—	11,798
還付消費税等	—	62,739
雑収入	1,444	3,247
営業外収益合計	3,570	79,946
営業外費用		
支払利息	749	2,180
為替差損	5,545	36,669
支払手数料	29,962	2,867
支払報酬	87,542	350
雑損失	0	569
営業外費用合計	123,800	42,637
経常利益又は経常損失(△)	467,724	△290,316
特別利益		
投資有価証券売却益	17,522	52,387
特別利益合計	17,522	52,387
特別損失		
減損損失	—	454
固定資産除却損	377	12,817
投資有価証券評価損	85,918	479,640
社名変更費用	—	9,629
移転関連費用	—	4,426
特別損失合計	86,296	506,968
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	398,950	△744,897
法人税、住民税及び事業税	19,801	37,315
法人税等還付税額	△5,701	—
法人税等合計	14,099	37,315
四半期純利益又は四半期純損失(△)	384,850	△782,213
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,478	△31,427
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	382,372	△750,785



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	384,850	△782,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,790	16,626
為替換算調整勘定	3,782	34,322
その他の包括利益合計	36,572	50,949
四半期包括利益	421,423	△731,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418,945	△699,836
非支配株主に係る四半期包括利益	2,478	△31,427

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソリューション 事業	インバウンド・ ソリューション 事業	フィンテック 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	912,094	371,888	989,739	2,273,722	—	2,273,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,701	1,899	—	4,600	△4,600	—
計	914,795	373,788	989,739	2,278,323	△4,600	2,273,722
セグメント利益	239,813	92,188	806,585	1,138,587	△550,633	587,953

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、OKプレミア証券株式会社の全株式を取得及びOctave Tech Investment S2 LLCへ全額出資し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「フィンテック事業」のセグメント資産が2,520,044千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フィンテック事業」において、第2四半期連結累計期間にOKプレミア証券株式会社の全株式を取得及びOctave Tech Investment S2 LLCに全額出資し、連結の範囲に含めたことにより、345,102千円のものれんが発生しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	ソリューション 事業	インバウンド・ ソリューション 事業	フィンテック 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,063,815	410,478	742,674	2,216,968	—	2,216,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,862	724	163	4,749	△4,749	—
計	1,067,677	411,203	742,837	2,221,718	△4,749	2,216,968
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	273,724	52,055	△209,431	116,348	△443,973	△327,625

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より事業区分を見直し、報告セグメントを従来の「コンシューマー・サービス事業」、「エンタープライズ・ソリューション事業」、「インバウンド・ソリューション事業」及び「フィンテック事業」の4区分から、「ソリューション事業」、「インバウンド・ソリューション事業」及び「フィンテック事業」の3区分に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの区分により組み替えて表示しております。